

# 富士市中小企業景況調査結果

平成 30 年度第 4 四半期【平成 31 年 1 月～3 月】

平成 31 年 3 月  
富士商工会議所調べ

## ◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。  
製造・建設・卸売・小売・サービス業の 5 産業、200 事業所(回収率 66.5%)を対象に、「平成 31 年 1 月～3 月」の 3 ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

### DI (景気動向指数) とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、  
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…30 年 10 月～12 月    今期…31 年 1 月～3 月    来期…31 年 4 月～6 月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

## ◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲14.4	↘	▲23.9 (▲9.1)	→	▲23.8
売上	3.8	↘	▲13.0 (▲0.0)	→	▲10.3
採算	▲13.7	↘	▲28.7 (▲23.6)	→	▲25.2

今期調査では、全産業合計の業況・売上・採算 DI ともに下降となり、前回調査の来期予測に概ね近い結果となった。来期の予測については、全産業合計の業況・売上・採算 DI ともに横ばいの見込みとなった。

主要 DI を産業別にみると製造業が前回調査から大きく下降しており、業況 DI は▲13.9 ポイント、売上 DI は▲26.3 ポイント、採算 DI は▲35.2 ポイント下降した。しかし、「製紙・紙加工では環境問題でプラスチック製品から紙製品移行への期待感や機械器具・金属加工では現状動向は順調」との声も寄せられ、来期予測については、業況・売上・採算ともに上昇となった。また、建設業は業況 DI が▲10.3 ポイント、売上 DI が▲24.2 ポイント、採算 DI が▲17.6 ポイント下降し、平成 29 年度の第 4 四半期より景気ムードの安定を保っていたが、今期 15 ヶ月ぶりに低調となった。コメントでは、「建設資材の不足・値上げで採算悪化と労働者の高齢化や人材不足による業況悪化」の声が多数寄せられていた。

経営上の問題点では、製造業は「設備老朽化」、建設業は「人材不足」、卸売業が「人員不足」が 1 位となった。小売業は「売上減に伴う利益減と売上、利益減による資金圧迫」、サービス業も「売上減に伴う利益減」が 1 位となった。

◇ 全産業の動き ◇

**〔業況のDI〕** 小売業は上昇。卸売業は横ばい。製造業、建設業、サービス業は下降。

来期は、製造業、卸売業は上昇を予想。サービス業は横ばい。建設、小売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲17.7	↘	▲31.6 (▲8.1)	↗	▲13.1
建設業	10.3	↘	0.0 (15.4)	↘	▲23.1
卸売業	▲22.7	→	▲22.8 (0.0)	↗	▲9.5
小売業	▲38.9	↗	▲23.6 (▲21.1)	↘	▲50.0
サービス業	▲13.8	↘	▲40.0 (▲31.1)	→	▲36.0
全産業	▲14.4	↘	▲23.9 (▲9.1)	→	▲23.8

**〔売上高のDI〕** サービス業は上昇。製造業、建設業、卸売業、小売業は下降。

来期は、製造業、卸売業は上昇を予想。建設業、小売業、サービス業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	0.0	↘	▲26.3 (5.4)	↗	7.9
建設業	24.2	↘	0.0 (19.3)	↘	▲25.9
卸売業	13.7	↘	▲18.2 (10.0)	↗	0.0
小売業	▲11.1	↘	▲23.5 (▲15.8)	↘	▲37.5
サービス業	▲10.7	↗	4.0 (▲20.7)	↘	▲12.0
全産業	3.8	↘	▲13.0 (0.0)	→	▲10.3

**〔採算のDI〕** 小売業、サービス業は横ばい。製造業、建設業、卸売業は下降。

来期は、製造業は上昇を予想。卸売業は横ばいを予想。建設業、小売業、サービス業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲14.8	↘	▲50.0 (▲21.6)	↗	▲18.4
建設業	6.9	↘	▲10.7 (▲7.7)	↘	▲18.5
卸売業	▲18.2	↘	▲28.6 (▲35.0)	→	▲23.8
小売業	▲27.7	→	▲25.0 (▲31.6)	↘	▲43.7
サービス業	▲20.7	→	▲19.2 (▲27.6)	↘	▲32.0
全産業	▲13.7	↘	▲28.7 (▲23.6)	→	▲25.2

## ◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

### 【製 造 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…「下級印刷紙はマンガ・雑誌等のデジタル化により大きく需要減。地方自治体等で発行する広報誌も入札のため、必ず受注に繋がる訳でなく、再生紙での対応はコスト面でも難しい。」「環境問題対策によりプラスチックから紙への移行が加速すれば業況も明るくなると思われる。」「紙の需要は、構造的要因として人口減少、ペーパーレス化等にて今後も総需要の回復が見込まれない。」とのコメント。

『紙加工』…「プラスチック製品から紙製品への移行が加速している。オリンピックまでは受注が増加傾向になると思われるが、人手不足は深刻である。」「原材料価格が落ちつきそうであるが、為替レートの動向を注視する。」「年度末のため製品は活発に動いている。各社の設備投資の効果が始始め、製品価格の下落が懸念される。」との声。

『機械器具』…「4月以降、官公庁の受注増。」とのコメント。

『機械部品加工』…「工作機械の現状動向は横ばいの生産態勢が続くが、今後の予測として米中 EU 諸国の経済状況の不安要素から不透明感が大きい。」との回答。

『金属加工』…「自動車部品では米中貿易摩擦の影響で在庫調整(造り過ぎ)により減産傾向にあると思われる。機械部品は順調と思われるが、徐々に陰りが見受けられる。両者とも貿易摩擦の影響がかなり大きい。」「米中貿易摩擦の影響が出て来ている。暫くは低迷が続きそう。」

「欧州の自動車関連産業が悪化している模様。今後、日本への影響を危惧する。」「材料・工具類の値上げが続いており、製品価格の維持が困難になれば国内のみならず輸出への影響も懸念される。」とのコメント。

『自動車部品』…「自動車業界は非常に慎重な動きを見せている。某メーカーの生産台数は前年比マイナスとなった。輸出・関税・消費税増税により需要は著しく変動する模様。」「オリンピック需要が終結しつつ、トラック運転手の人手不足等でトラックの売上が増える要因がない。今後、輸送業は多忙となると思われるが、雇用不足でトラックを増やすことはないと思う。輸出も世界情勢が不安定で伸びは期待できない。」「住宅設備関連ではオリンピック需要が終わり、消費税増税の駆け込み需要に期待が掛る、しかし思いの外伸びず今後も注視する。」とのコメント。

『繊維加工』…「海外需要の減少による生産の停滞が見られる。今後、景気後退により生産縮小が生じると思われる。」とのコメント。

『印刷資材』…「印刷関連は相変わらず低迷状態だが、新元号決定後は多少活発になると思われる。産業機器、ゴムロール、什器備品販売は微増が継続。仕入原材料の値上げ交渉が徐々に表面化している為、お客様への対応が不可欠となる。人手不足による人件費高騰も加速する様相。」との声。

『食品』…「個人消費低迷のため価格が下落傾向にある。一方、商品における価格・品質の二極化が加速している。原材料の上昇や物流費・人件費の高騰は、避けて通れず、中でも EC (電子商取引) 好調による物流コスト増は一番の問題と感じる。」「国産小豆が不作のため価格高騰、原材料確保が困難。軽減税率制度への対応のため値上げを検討。」「食品加工では原料価格の乱高下が激しく価格設定が難しい。」とのコメント。

『その他』…「家庭紙同様に地元の製紙メーカーの活用を依頼したい。公共広報等の印刷用紙についても地元品の指定を促して欲しい。」との要望。「倉庫が不足しているが、周辺工業地区の地価が上昇している。」とのコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期 D I	来期予測
業 況	2.6	63.2	34.2	▲31.6	上 昇
売上高	18.4	36.8	44.7	▲26.3	上 昇
採 算	2.6	44.7	52.6	▲50.0	上 昇

## 〔建設業〕 景気ムード…【低調】

『総合建設』…「民間工事全体が落ち込んでいる。又、鉄骨等の資材不足により納期の遅延と共に価格も高騰しており、採算が悪化。工事量の低迷により過当競争は続き、今後も人員不足が継続する見込みである。」「オリンピック需要による職人・材料不足が続いているため、予定していた工事の着工遅延等で他の需要があっても受注出来ない状況にある。」「業況は下降気味そのうえ人材不足により働き方改革の実現が困難。」とのコメント。

『一般住宅』…「建築職人の高齢化が進み継承技術者も減少しているため、職人の奪い合いもあり、工事の遅れも発生している。今期までは受注は増えているが来期の見通しは不明。」また、「消費税増税前の駆け込み需要がまだみられない。」「消費税増税前の駆け込み反動による需要減。今後、市場の縮小及び景気悪化感が増すと予想。」との声。

『建設関連』…「建設資材の値上げが続くが、オリンピック以後も反動減は少ないと見通す話もある。」「建設業労働者の高齢化と人材人員不足が進み厳しい状況、さらに若手就業者を希望する。年度初めは例年多忙、民間工事も発注される模様。」「人員がオリンピック関係で関東に流れ、人手不足とで賃金上昇傾向である。」との情報。「過当競争と競争力低下で益々厳しくなる様相。」「各業種の設備投資次第で状況は不明だが、現行は学校空調の特需があり売上増になる。」と回答。「看板製作では行政・新規建設に係る看板類発注で好調。しかし、同業者の廃業や消費税増税後が不安。イベント関連では1～2月は閑散期であるが例年通りの受注状況である。」とのコメント。

『土木関連』…造園工事では「複数件発注され、いつもの年より多忙。管理の入札が始まり、著しい価格競争により利益率の低下を危惧する。」「市発注の造園工事が前年度より件数が多いが、1件当りの額は少額であった。近年の住宅事情により庭の規模が狭小となり植木の需要も減少。生産者も生産減少傾向にあるようだ。特に松・マキ等の仕立物は著しく需要が減少している。一方、花壇・プランター・寄せ植え等の花苗の需要は増加しており、今後も個人や各施設・イベント等で使用される模様。」鉄骨材・生コン製造販売では「今期は需要増のため、生産・販売数量ともに増加し好転。しかし、来期は大型物件の発注もなく業況は悪化してくると思われる。」「産廃リサイクルは年度末のため、3月に入り荷入れが減少。解体・土木工事も落ち着き、大型物件が減少気味。消費税増税で駆け込み需要を期待していたが期待感が薄い。」「業者間での価格競争激化。公共工事及び民間設備投資が減少。」などのコメント。

『その他』…「市北部地区の急斜地の危険箇所への擁壁等の設置が施工する方向となり、現地立会で境界線等の確認が行われた。当地域に於いて急傾斜の対策もせず盛り土を行い、太陽光発電が設置されたため、周辺住民からの苦情にて工事が中断されている。」「市内津田にユニクロ・GUの出店が決定した。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	28.6	42.9	28.6	0.0	下降
売上高	32.1	35.7	32.1	0.0	下降
採算	21.4	46.4	32.1	▲10.7	下降

## 〔卸売業〕 景気ムード…【厳しい状況】

『機械器具』…半導体関連では「長納期の機械・部品は解消されたが、受注減少によるもので憂慮すべきである。例年4～5月は受注・売上ともに不調期であるが、来期は落ち込みが増す模様。」各種ポンプ販売・修理では「県内受注は極めて少なく、現状は主要都市（東京・名古屋）の官公需のみで厳しい状況である。」事務機では「仕入価格が上昇また物流コストも上がり、販売先への理

解を求めるも利益が圧迫される場合がある。」との声、ほか「生産・販売ともに好調の様相だが、需要は減少すると思われる。」などのコメント。

『**建築材料**』…「受注は増加しているが、単価が上がらない。建設業の人手不足は深刻で、求人広告を出しているが採用に至らない。」との回答。

『**自動車部品**』…「前年同期に比べ、今期売上は4～5%、営業利益で3%程上昇。車輛販売が順調であると推察している。自動車整備工場が多忙なため自動車部品販売も売上好調であるが、労務管理が厳しくなり人件費の負担が利益を圧迫している。」との意見。

『**紙**』…「各種原紙値上げが相次ぐなか、紙を扱う各社で製品・商品の値上げができるかが課題と思われる。」との声。

『**製紙原料**』…「中国政府による古紙輸入制限により市況は急速に悪化。国内価格も昨年12月比40%程下げてきている、荷余り感も増大。2020年末で中国への古紙輸出が原則禁止となるが、アジア諸国の需要がどの程度増えるかがポイントとなる。」「輸出低迷により単価が左右される。今後、古紙発生は悪化すると予測し、紙以外の業態も視野に入れている。」とのコメント。

『**再生資源**』…「中国向け鉄鋼製品が輸出増加に転じた。価格も上昇し、スクラップ価格も値上がったが、国内での発注は減少。米中貿易摩擦の影響で中国経済は減速。輸出依存度が高い日本経済の先行きが懸念される。」一方、「国内鋼材需要は堅調に推移、これにより原材料スクラップ価格も上昇。鉄スクラップの国内需要が高まる中、東南アジア向けは弱含み。韓国は需要減少、中国も弱気の中、ベトナム向けが強含み。オリンピックによる鉄鋼需要は、今年一杯継続の模様。」との声。

『**工業薬品**』…「家庭紙は生産・需要共に好調で薬品の動きも良い。各メーカーが設備投資をしているため、需給バランスが心配される。」「年度末、改元、消費税増税前の駆け込み需要で生産・販売・需要が継続的に推移されている模様。日々変化する海外事情や国際情勢により我々中小企業にも影響が及ぼされる程、事の成り行きが一段と速くなる恐れがある。」とのコメント。

『**その他**』…「新富士駅富士山口のリニューアル工事は3月末に完成を迎えるが、JR富士駅の再開は進展のないままである。市民の注目が寄せられる政策・プランを早急に提示し、具体的な状況の報告が必要ではないかと思う。」「富士市は大型商業施設・娯楽施設等の観光立地に貢献する施設の誘致が必要と思われる。」「紙・パルプ産業への積極的な工場誘致及び企業減少への対策をお願いしたい。」「来期は今までにない大型連休があり、長期休暇が経済に及ぼす影響は予見できない。」とのコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	13.6	50.0	36.4	▲22.8	上 昇
売上高	22.7	36.4	40.9	▲18.2	上 昇
採 算	14.3	42.9	42.9	▲28.6	横ばい

## 【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『**各種食料品**』…製菓販売では「2017年秋の台風と2018年夏の天候不順により、収穫量が落ち込み主要原料である北海道産小豆値が4割程高騰し、コストを押し上げた。和菓子業界にとっては多大なマイナス要因となっている。又、後継者難による廃業が後を絶たず、和菓子専門店の減少が著しい。近年ネームバリューの高いブランド力のある企業の身売りが散見される。」「消費税増税を危惧し、生き残りを掛けた商戦が展開されるであろう。とにかく質の高い商品を提供できるよう努力していきたい。」「店の特徴を表した商品は必須で消費者に高く評価されるためにも差別化が重要。消費の二極化が強まっている。」「顧客や消費者にとってブランドを構築するための取組が必要だと思う。」との声。一方、製茶販売では「茶業の低迷は長期化している。需要がたとえ減少しよう

と消費者のため良質茶づくりを心掛けたい。」「緑茶の需要減少。競争激化するなか、テレビやネット通販の普及が小売業に影響を与えている。」とのコメント。

『衣料品・呉服』…作業着販売では「1～3月は需要の少ない時節ではあるが、急激に売上が悪い。大手には価格面では敵わないため、利益を出せず苦戦している。」衣類販売では「人口減少・高齢化のため需要・販売ともに低迷。大型店とは異なり小規模小売店は全く先が見えない状況。」「呉服販売店は減少し、レンタル・貸衣裳店、古着店に業界が広がっている。」との意見。

『生花』…「生産者の徹底管理により出荷の高値安定により仕入額高騰や低価格のネット販売による影響などを受け、収益分を価格転嫁できず厳しい。今後商品価値を見直し、新しい商品を開発しなければならない。」との声。

『自動車』…「欧州 2021 年 CO2 規制が引き金となり、益々電気自動車の生産割合が加速するとのこと。」「自動運転車等の安全性を確保するための制度を整備する法案が閣議決定した。国交省は点検整備に必要な技術情報の提供の義務付けとして「特定整備」と定義し、新たな認証が必要となる。今後、自動車整備には様々な情報や新技術に対する知識・設備投資・人材確保等先進技術を追い求めるだけでなく、時代の変化に対応を求められる様相。」との情報。

『家電』…「チューナーレスの 4K テレビも発売され、ユーザーの 4K・8K 放送への認知度が急速に上昇。来年のオリンピックに向け、需要の増加に期待する。」との声。

『その他』…「熱海駅構内商業施設がラスカ熱海として新設され催事に出店したが、廃墟のように衰退していた熱海が復活し、どこも観光客で賑わい驚嘆した。函南のめんたいパーク伊豆・三島の村の駅も盛況で、当地域の商店街も賑わいのある街に復活したいものだ。」「熱海視察会に参加し、商店街再生について様々な考え方や取組があり衝撃的で参考になった。当市には富士山と海の観光資源がありながら何もできていないことを非常に残念に思う。」「JR 富士駅周辺は都市の顔としての整備ができておらず、中心市街地として成立していない。人が集まり、商業が活性することで、コミュニティーを形成し、癒され活気が生まれる。富士駅周辺地域の再開発を望む。」との意見。「ららぽーと沼津の工事が着々と進み当市に与える消費に関する影響を危惧する。」一方、「吉原商店街では『まるごとマルシェ』が開催され、昨年比 2 割増の 2 万人超えの来客数で、大盛況であった。今回、富士市立高校、吉原高校・吉原第一中学校の生徒のボランティアもあり、地域一体となったイベントであった。」とコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期 D I	来期予測
業 況	17.6	41.2	41.2	▲23.6	下 降
売上高	29.4	17.6	52.9	▲23.5	下 降
採 算	18.8	37.5	43.8	▲25.0	下 降

## 【サービス業】 景気ムード…【厳しい状況】

『飲食』…「GW10 連休を前にし、消費者は外食機会を減らし節約傾向、宴会需要も減少している。今後は仕入価格上昇するも価格転嫁できず収益は悪化傾向となる。」「近隣に飲食店が増え補完関係にあるが、もっと賑わうことで相乗効果を期待したい。GW10 連休や消費税増税で需要が落ち込むのではないかと案じている。」「原材料の仕入価格が上昇傾向、過当競争も激化し利益減が続く模様。10月の消費税増税に伴い益々厳しい状況になると思われる。」「物流コスト上昇に伴う一部食料品の仕入れ値高騰が懸念材料。人件費の上昇もこれ以上は厳しい。」とのコメント。

『ホテル・旅館』…「富士山世界遺産センター目当ての観光客が増えている。」「宿泊客数の低下が著しい。特に仕事での長期滞在者が減少、ホテル建設増が要因。」との回答。

『クリーニング』…「ダストコントロール(掃除用具)事業の需要は減少幅が低く、消費税増税後にどう動き出すか予測不能である。」「衣類クリーニングではコインランドリーと安価なクリーニング取次店との一体型店舗が増加。近年、家庭で洗える繊維・衣料品が増え需要が低下」との声。

『運輸・倉庫』…「一時的な軽油価格の下落により利益は確保できたが、現在は高値の状況に転じている。今後夏場に上昇が予測されており、安定した燃料価格を強く望む。」とのコメント。

『自動車整備』…「2月・3月は取引企業の決算月であり、新車塗装は前年より増加している。消費税増税に伴う駆け込み需要が5月頃から見込める為、売上は前年より増加する模様。」とのコメント。

『不動産』…「宅地造成分譲地の開発は増加しているが、需要は横ばい。消費動向の不変、岳南経済の動向等で経済全体の好転を望みたい。」「急速に宅地造成が進み供給過剰。建売住宅の価格は下がるが売れていないと感じる。今後地価の下落が心配。」「土地を処分したい所有者が増えている。現状の需給バランスは取れているが、将来在庫が増えないよう注視する。」不動産賃貸業は「建物の老朽化が進み修理が大変だが、空き店舗が発生しなければ現況は安定している。」との声。

『求人広告』…「商品単価の低下及び過当競争により売上・利益幅の減少がみられる。」と回答。

『専門サービス』…税理士事務所では「確定申告期において受注数に変化はないが売上は微減。関与先を維持するため付加価値の高いサービス提供に努力しなければならない。」「中小企業の経営者の高齢化が顕著であり、事業承継又は廃業件数がここ10年ピークである。」とのコメント。

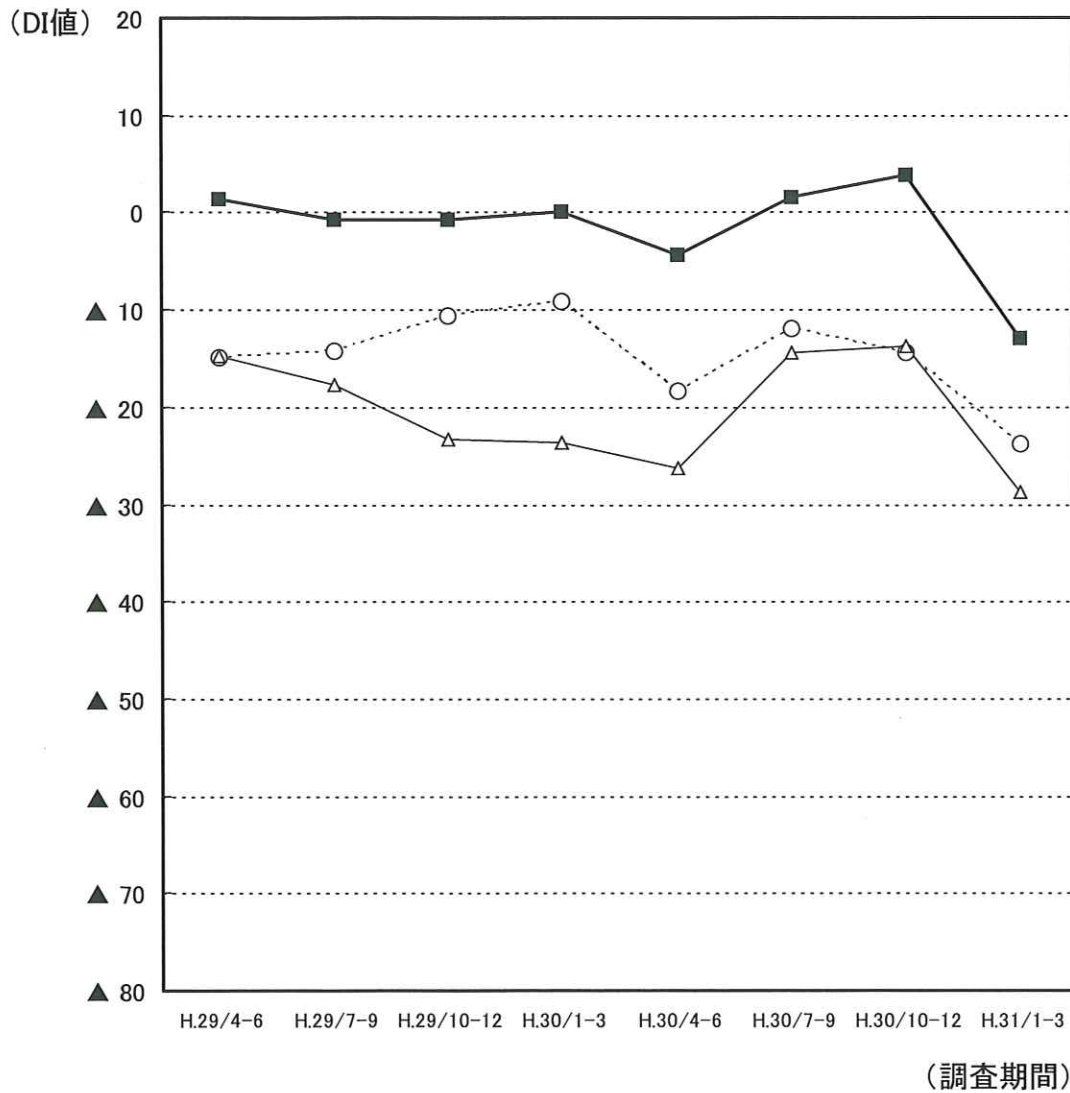
『各種学校』…「業界全体が値上げをしない限り、好転はない。」との意見。

『その他』…「富士地区商店街の来街者が一段と減少。新規飲食店のオープンが続いているが、既存店の客が新規へ流れているだけで全体の集客は変化がないと思われる。」「人材流出、特に若年層が顕著であるため、改めて学校の誘致等対策が必要。」「観光に力を入れるならば交通インフラ整備が必要だと思う。」との意見。「新々富士川橋の早期開通を目指し道路の拡幅が進んでいる。地価上昇に繋がるよう期待する」「家庭紙製造会社に於いての設備投資が目立つ。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	4.0	52.0	44.0	▲40.0	横ばい
売上高	32.0	40.0	28.0	4.0	下 降
採 算	23.1	34.6	42.3	▲19.2	下 降

# 全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上    ○ 業況    ▲ 採算



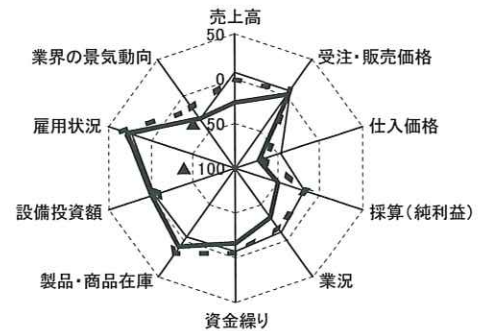


# レーダーチャート

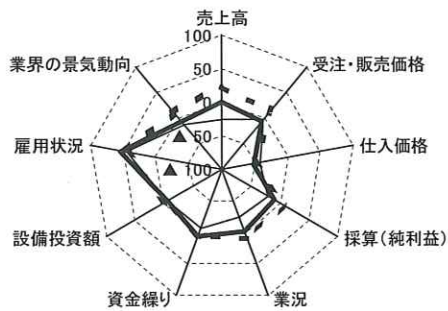
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比   
 来期予測   
 前回調査時

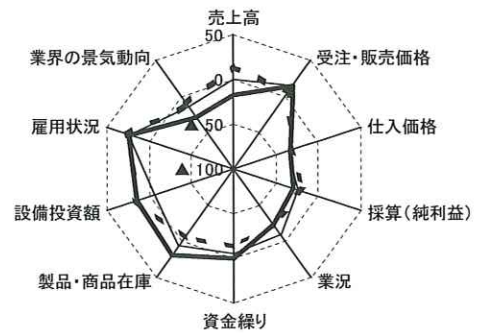
【製造業】



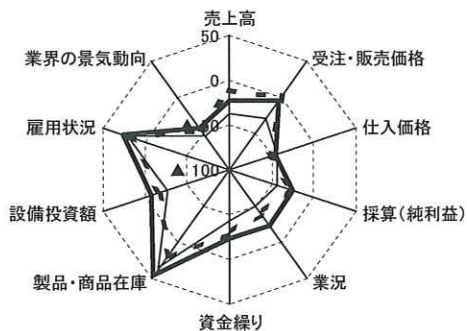
【建設業】



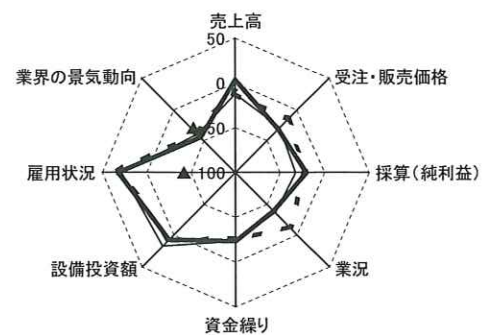
【卸売業】



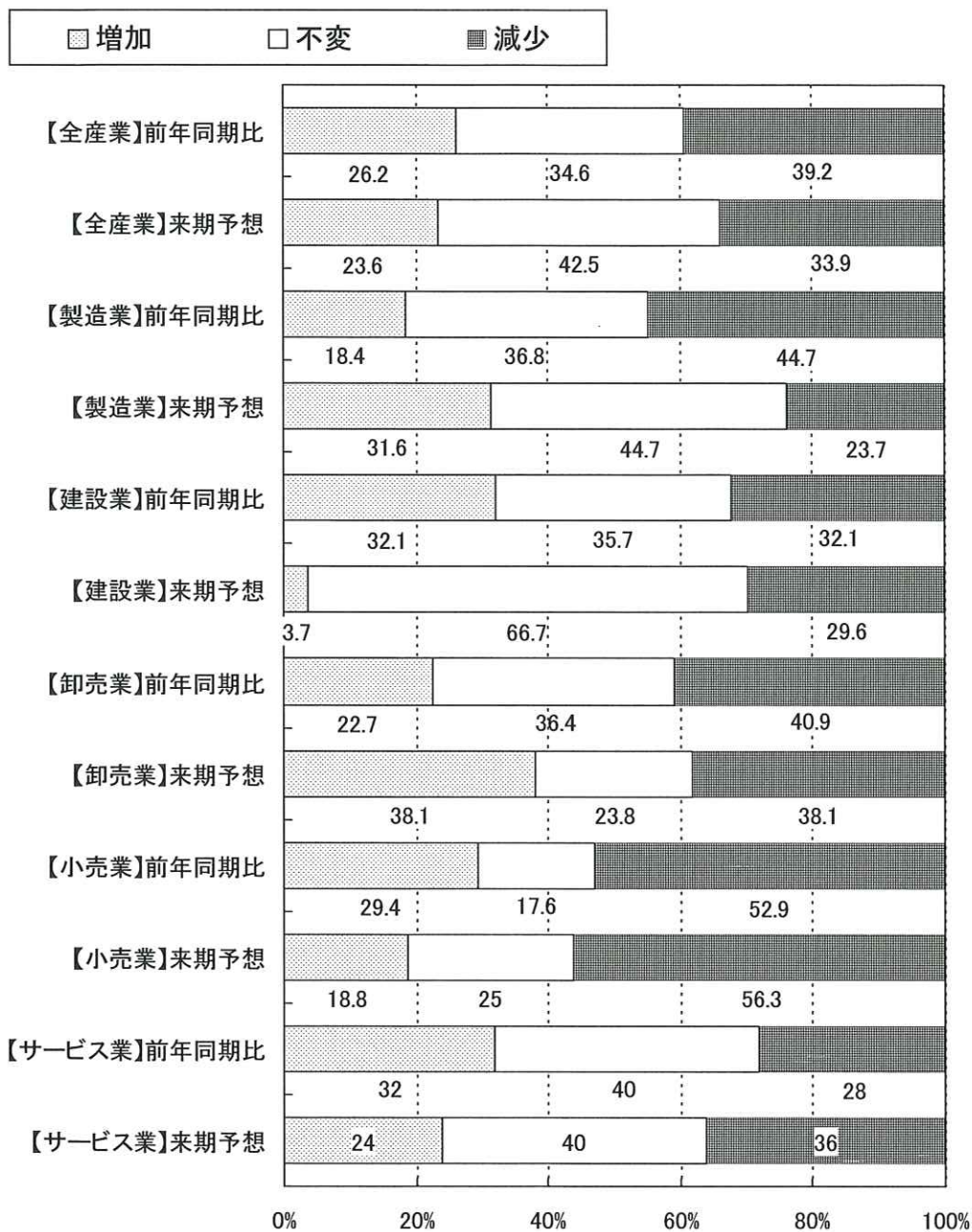
【小売業】



【サービス業】



## 売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 設備老朽化</p> <p>2 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>3 位 人材不足</p> <p>その他 売上減に伴う利益減</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 人員不足</p> <p>3 位 過当競争／設備老朽化</p> <p>その他 販売価格値上げ難／売上減に伴う利益減／商品、原材料仕入れ価格の上昇</p>
卸売業	<p>1 位 人員不足</p> <p>2 位 過当競争／人材不足</p> <p>3 位 売上減に伴う利益減</p> <p>その他 その他の需要の低迷／販売価格値上げ難／人件費高騰／商品、原材料仕入れ価格の上昇</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減／売上、利益減による資金圧迫</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 その他の需要の低迷／設備老朽化</p> <p>その他 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p>
サービス業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 人員不足／設備老朽化</p> <p>3 位 販売価格の低下／過当競争／人件費高騰／売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 販売価格値上げ難</p>